ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2019
前売り券の販売斡旋について

2019年7月23日（火）～28日（日）の間、武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて、
ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2019が開催されます。

北区バドミントン協会でも「スタンド席」前売チケットを販売斡旋できますので、ご利用願います。

尚、プレミアムシート、アリーナ席、アリーナサイド席は、入手出来ません。
（チケットぴあ等の販売となります。）

チケット申し込み方法

① メールにて氏名、北区協会会員番号、観戦日、券種、枚数を申し込みして下さい。

② 購入金額を指定口座に振り込みして下さい。

③ 振込み確認後、申し込み受付メールを送付し、購入手続きを行います。

④ チケットが届きましたら郵送いたします。

尚、購入できる方は、**北区バドミントン協会会員のみ**となりますので、
ご了承願います。

申し込み先　北区バドミントン協会　副会長　渡邊春男

メールアドレス　haro-man-vv@docomo.ne.jp

振込先口座　りそな銀行　王子支店　普通　1755862　北区バドミントン協会

締め切り日　**令和元年7月3日（水）振込み確認分まで**

不明な点がありましたら、北区バドミントン協会　副会長　渡邊春男まで連絡願います。

北区バドミントン協会
副会長　渡邊春男
携帯TEL　090-4723-6627
携帯メール　haro-man-vv@docomo.ne.jp

ダイハツ・ヨネックスオープンジャパン2019前売り券注文書(支部)

支部名：

住所 〒

申込責任者:　　連絡先(携帯):

日付	券種別	料金	依頼数	購入金額	備考
7/23(火)	スタンド席	2，500円	枚	円	当日3，000円
1回戦	高校生以下	1，000円	枚	円	当日1，500円
9時30分開場/10時開始	アフター5	1，500円	枚	円	当日2，000円
7/24(水)	スタンド席	2，500円	枚	円	当日3，000円
2回戦	高校生以下	1，000円	枚	円	当日1，500円
9時30分開場/10時開始	アフター5	1，500円	枚	円	当日2，000円
7/25(木)	スタンド席	2，500円	枚	円	当日3，000円
3回戦	高校生以下	1，000円	枚	円	当日1，500円
9時30分開場/10時開始	アフター5	1，500円	枚	円	当日2，000円
7/26(金)	スタンド席	3，500円	枚	円	当日4，000円
準々決勝	高校生以下	1，500円	枚	円	当日2，000円
9時30分開場/10時開始			枚		
7/27(土)	スタンド席	4，000円	枚	円	当日5，000円
準決勝	高校生以下	2，500円	枚	円	当日3，000円
9時開場/10時開始			枚		
7/28(日)	スタンド席	4，000円	枚	円	当日5，000円
決勝	高校生以下	2，500円	枚	円	当日3，000円
9時開場/11時30分開始					
6日間通し券	スタンド席	15，000円	枚	円	
合　計			枚	円	

世界が、日本に挑む。日本が、世界に挑む。

HSBC BWF
World Tour
Super 750

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2019
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

2019.07.23.Tue - 28.Sun

at MUSASHINO FOREST SPORT PLAZA

■会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ ■主催：公益財団法人日本バドミントン協会 ■共催：東京都 ■後援：調布市、調布市教育委員会（予定） ■主管：東京都バドミントン協会 ■公認：世界バドミントン連盟 ■賞金総額：$750,000

Light you up DAIHATSU
YONEX
HSBC
JTB 感動のそばに、いつも。
Rinnai
TOTAL
BWF
at home
ヒト・コミュニケーションズ
日本バドミントン協会 Nippon Badminton Association

どん底から這い上がった者がいる。
殻を打ち破った者がいる。
歴史を変えようとしている者がいる。
なんだよ、ぜんぶ、大好物のストーリーだ。

東京2020に、つながる戦い。

決戦の地は、東京オリンピックの舞台でもある
武蔵野の森総合スポーツプラザ。
「Super750」に格付けされる今大会での優勝は、
東京オリンピック出場への重要な一歩となる。

世界ランク1位・桃田の2連覇を、目撃せよ。

ディフェンディングチャンピオン桃田賢斗は、守りに入らない。過去の深い反省を経て17年にバドミントン界に復活した24歳は、世界ランク２８０位というどん底から再スタート。そこから驚異的なスピードで世界ランクを上げ、昨年日本男子として初めて『ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン男子シングルス』を制した。代名詞のネットプレーにフィジカルのたくましさも加わり、ついに世界ランク1位に登りつめてもなお進化を続けている。再び頂点をつかむその姿を、昨年の自分自身を超えるその姿を、ぜひ目撃してほしい。

打倒・桃田に燃える筆頭は17年優勝のビクター・アクセルセン（デンマーク）。角度のある攻めを持ち、一時世界ランク1位の座に就いたが、復帰後の桃田にその座を奪われた。

他にも、しぶとくラリーするシー・ユーチー（中国）や爽快なアタック力を持つチョウ・ティエンチェ（チャイニーズ・タイペイ）も上位争い加わりそうだ。女子シングルスは、日本のWエース奥原希望と山口茜がそれぞれ２度目の頂点を目指す。小柄ながらクレバーな配球で勝機を探るふたりに立ち塞がるのは優勝筆頭候補のタイ・ツーイン（チャイニーズ・タイペイ）や攻撃型のチェン・ユーフェイ（中国）。こちらも見逃せない戦いだ。

オリンピック出場権争いが熾烈な日本女子ダブルス。

特に注目すべきは女子ダブルスの戦い。東京オリンピックの日本代表枠は最大２。6月現在、世界ランキング3位までに18年世界選手権優勝の永原和可那／松本麻佑、昨年優勝の福島由紀／廣田彩花、リオオリンピック金メダリストの髙橋礼華／松友美佐紀と日本勢が順に並ぶ。同７位には米元小春／田中志穂もおり、日本ペアはここで１ポイントでも多く稼がなければ、来年のレース終了時、僅差で東京行きの切符を逃すこともありうる。それだけに戦いが熾烈を極めることは間違いない。テクニシャンのポリー／ラハユ（インドネシア）、怒涛の波状攻撃を見せるチェン／ジア（中国）も日本の難敵として立ちはだかりそうだ。

男子ダブルスは、2連覇を狙うギデオン／スカムルヨ、全英OP優勝のアッサン／セティアワンというインドネシアの技巧派に日本のエース園田啓悟／嘉村健士、アタッカーのリ／リュウ（中国）らが対抗する。17年日本王者の遠藤大由／渡辺勇大も上位へ顔を出しそうだ。その渡辺は東野有紗との混合ダブルスでも上位進出が期待される。

©Nippon Badminton Association　PHOTO/T.KITAGAWA

大会公式ホームページ→